

令和3年度当初予算の概要

令和3年4月1日



御浜町

1. 予算の概要

令和3年度の当初予算編成にあたっては、「第6次御浜町総合計画前期基本計画」の初年度であり、総合計画が掲げる町の将来像を実現するため、各成果指標の着実な達成に向けた施策に取り組みます。

一般会計予算といたしましては、令和2年度補正予算第11号を含めた、いわゆる13ヶ月予算とし、その予算規模は、前年度より3億4千8百80万1千円増の総額53億9千4百80万1千円です。

歳入については、町税において、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の縮小や本町の人口減少の影響から減額、また地方交付税についても同様に減額が見込まれていますが、臨時財政対策債を増額発行することで、一般財源総額の確保に努めています。

歳出については、最優先事業である新型コロナウイルスワクチン接種事業をはじめ、ソフト事業では、みかん産地再生プロジェクトや地域防災計画の見直しなど、ハード事業では、国道42号紀宝熊野道路関連事業や三軒屋地区津波避難タワー建設工事など、「第6次御浜町総合計画前期基本計画における重点プロジェクト」を中心に選択と集中による事業の重点化に努め、効果的な住民サービスの提供と効率的な行政運営に主眼をおいた予算編成を行っております。

また、補正予算第11号のうち新型コロナウイルス感染症対策として予算計上している158,051千円の事業につきましては、みはまオレンジ商品券支給事業、医療・社会福祉施設従事者応援事業、かんきつ栽培支援強化対策事業、尾呂志診療所電子カルテ導入費などを計上しております。

これらに必要な財源につきましては、国・県の交付金や補助金の活用、地方債の発行などのほかに、財政調整基金より2億5千万円の繰り入れを行っております。

(当初予算の規模)

一般会計予算は、51億1,530万円（前年度比1.4%増）と昨年度比では増となり、令和2年度補正予算第11号と合わせた予算規模は、53億9,480万1千円（前年度比6.9%増）と53億を超える大きなものとなっています。

特別会計を合わせ、補正予算も含めた全体の予算規模は、75億2,441万1千円（前年度比1.6%増）となっています。

表1-1. 令和3年度当初予算の規模

会 計	令 和 3 年 度 当 初 予 算 額	令 和 2 年 度 当 初 予 算 額	増 減 額	増 減 率
	千円	千円	千円	%
一 般	5,115,300	5,046,000	69,300	1.4
国民健康保険	1,270,100	1,310,000	△39,900	△3.0
後期高齢者医療	277,380	281,300	△3,920	△1.4
下 水 道	181,840	275,230	△93,390	△33.9
水 道	400,290	495,390	△95,100	△19.2
計	7,244,910	7,407,920	△163,010	△2.2

表1-2. 令和3年度当初予算+補正予算第11号※1の規模

会 計	令 和 3 年 度 当 初 予 算 額 +補正予算第11号	令 和 2 年 度 当 初 予 算 額	増 減 額	増 減 率
	千円	千円	千円	%
一 般	5,394,801	5,046,000	348,801	6.9
国民健康保険	1,270,100	1,310,000	△39,900	△3.0
後期高齢者医療	277,380	281,300	△3,920	△1.4
下 水 道	181,840	275,230	△93,390	△33.9
水 道	400,290	495,390	△95,100	△19.2
計	7,524,411	7,407,920	116,491	1.6

※1 「補正予算第11号」は、繰越事業にかかる予算のみをいいます。

2. 歳入のポイント

- 令和3年度の歳入では、表2のとおり、町税②については、減収を見込んでいます。
- 臨時財政対策債を合わせた実質的な地方交付税としては、表3のとおり、対前年度4,400万円（前年度比2.0%増）と増収を見込んでいます。
- 一般財源等総額①については、35億7,376万1千円、対前年度4,320万5千円（前年度比1.2%増）の増収となっています。
- その他の歳入③については、対前年度2,609万5千円（前年度比1.7%増）の増収を見込んでいます。国庫支出金の増が主な要因です。

表2. 歳入の状況（一般会計）

令和3年度当初予算+補正予算第11号

（単位：千円、%）

区 分	令和3年度 当初予算額+ 補正予算第11号 A	令和2年度 当初予算額 B	増減額 A-B	増減率 (A-B)/B ×100
一般財源等総額 ①	3,573,761	3,530,556	43,205	1.2
町税 ②	721,457	753,655	△ 32,198	△ 4.3
地方譲与税	49,602	53,899	△ 4,297	△ 8.0
各種交付金	184,702	149,002	35,700	24.0
地方交付税	2,025,000	2,064,000	△ 39,000	△ 1.9
繰越金	60,000	60,000	-	-
減債基金繰入金	100,000	100,000	-	-
臨時財政対策債	183,000	100,000	83,000	83.0
財政調整基金繰入金	250,000	250,000	-	-
その他の歳入総額 ③	1,541,539	1,515,444	26,095	1.7
分担金、負担金、 使用料及び手数料	81,356	98,275	△ 16,919	△ 17.2
国庫支出金	558,366	484,396	73,970	15.3
県支出金	363,112	404,811	△ 41,699	△ 10.3
繰入金	92,838	117,153	△ 24,315	△ 20.8
町債 ※2	260,800	240,600	20,200	8.4
その他	185,067	170,209	14,858	8.7
小計	5,115,300	5,046,000	69,300	1.4
補正予算第11号総額	279,501	-	-	-
合計	5,394,801	5,046,000	348,801	6.9

※2 臨時財政対策債を除いた地方債です。

表3. 実質的な地方交付税の状況(一般会計)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度 当初予算額 A	令和2年度 当初予算額 B	増減額 A-B	増減率 (A-B)/B ×100
地方交付税	2,025,000	2,064,000	△ 39,000	△ 1.9
臨時財政対策債	183,000	100,000	83,000	83.0
合計	2,208,000	2,164,000	44,000	2.0

【地方消費税交付金(社会保障財源化分)】が充てられる経費の状況

地方消費税率の引上げに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確にし、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和3年度当初予算における地方消費税交付金(引上げ分)と社会保障施策に要する経費は以下のとおりです。

【歳入】 地方消費税交付金(引上げ分) 87,000千円
※地方消費税交付金(160,000千円)の2/2分の1/2に相当する額

【歳出】 社会保障施策に要する経費 948,300千円
※一般財源ベース

表4. 令和3年度当初予算のうち社会保障施策に要する経費

(単位:千円)

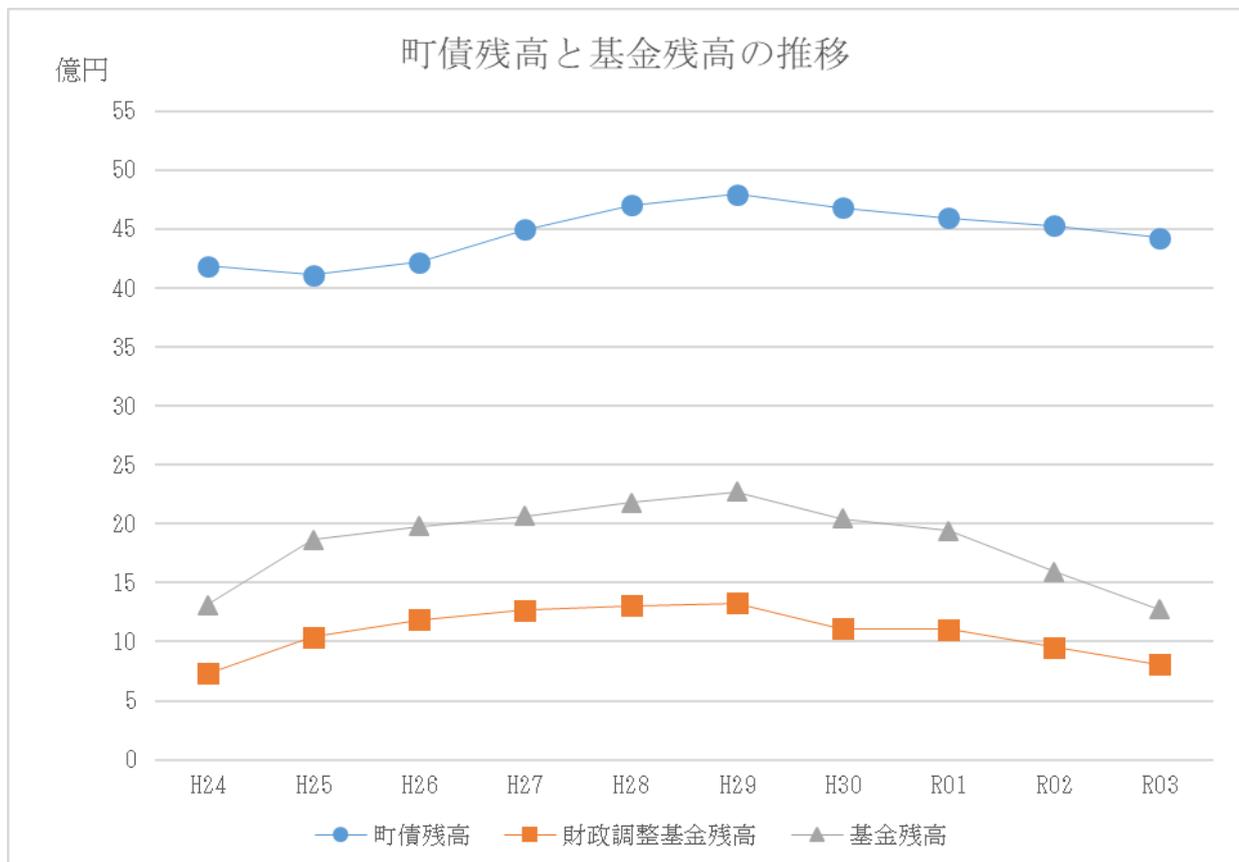
区 分	主な事業内容	予算額	特定財源	一般財源
社会福祉 (児童福祉含む)	医療費助成 (障がい者、一人親家 庭等、子ども)	1,027,401	477,307	550,094
社会保険	国民健康保険事業、 後期高齢者医療特別会計 への繰出金(人件費除く)	287,574	84,824	202,750
保健衛生	健康づくり事業 母子保健事業 予防接種事業	280,947	85,491	195,456
合計		1,595,922	647,622	948,300

(町債・町債残高)

臨時財政対策債を含めた町債については、臨時財政対策債の増収見込みにより総額4億4,380万円、対前年度1億320万円（前年度比30.3%増）の増額を予定しています。町債残高については、令和3年度末残高を44億2,600万円程度と見込んでいます。

(財政調整基金繰入金・基金残高)

当初予算のうえでは財政調整基金を本年も取り崩す予定としています。令和3年度末の財政調整基金は、8億400万円程度の残高と見込んでいます。また基金残高全体では、12億7,200万円程度と見込んでいます。



※R元（令和元年度末）までは実績で、R02以降は当初予算における見込額としています。

3. 歳出のポイント

- **義務的経費①**（人件費・扶助費・公債費）は、全体で7,622万9千円の増加となっています。
- **一部事務組合負担金②**については、東紀州環境施設組合負担金の増加などにより全体で3,328万5千円（対前年度費4.9%増）増加しています。
- **その他③**については、新型コロナウイルスワクチン接種委託料の皆増などにより物件費が3,289万8千円（対前年度比2.9%増）増加しています。

表5. 歳出(性質別)の状況（一般会計）

令和3年度当初予算+補正予算第11号

（単位：千円、%）

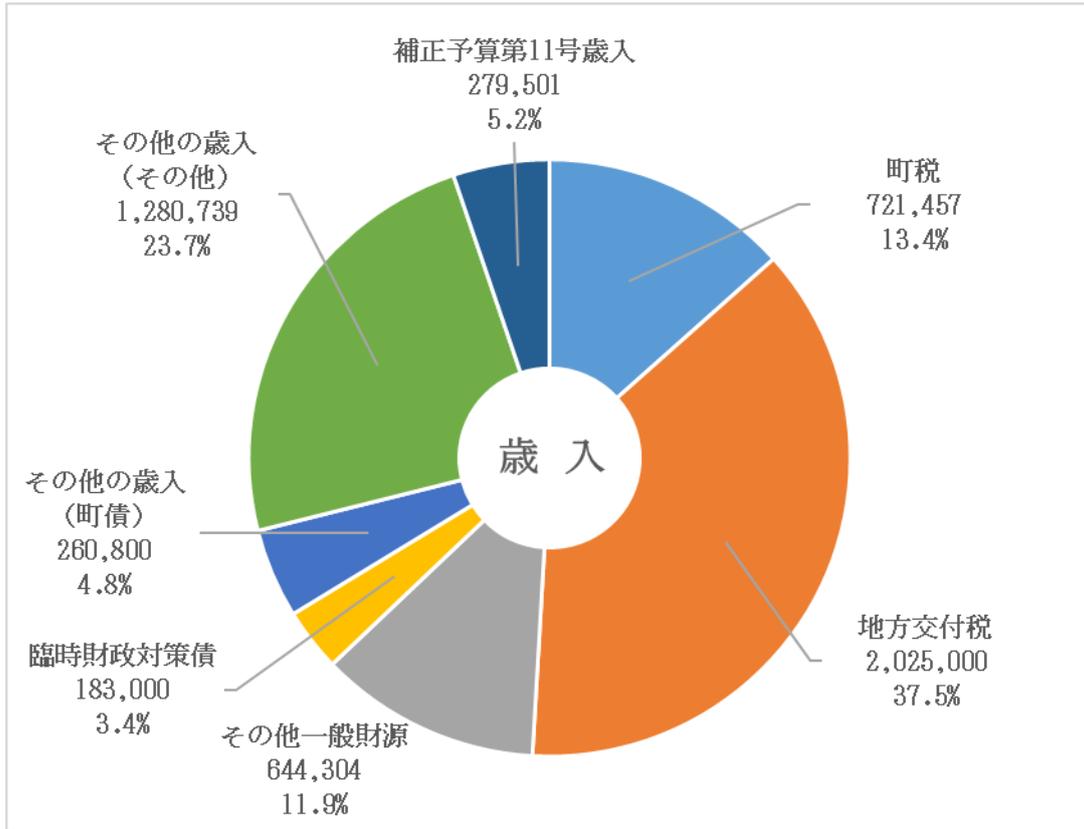
区 分	令和3年度 当初予算額+ 補正予算第11号 A	令和2年度 当初予算額 B	増減額 A-B	増減率 (A-B) / B ×100
義務的経費 ①	2,267,346	2,191,117	76,229	3.5
人件費	1,238,321	1,206,886	31,435	2.6
扶助費	463,982	446,623	17,359	3.9
公債費	565,043	537,608	27,435	5.1
一部事務組合等負担金※1②	717,366	684,081	33,285	4.9
補助費	486,798	455,829	30,969	6.8
繰出金	230,568	228,252	2,316	1.0
特別会計繰出金※2	425,072	428,859	△ 3,787	△ 0.9
補助費	8,099	8,782	△ 683	△ 7.8
投資及び出資、貸付金	39,361	37,355	2,006	5.4
繰出金	377,612	382,722	△ 5,110	△ 1.3
投資的経費	552,938	622,263	△ 69,325	△ 11.1
普通建設事業費	519,848	586,703	△ 66,855	△ 11.4
災害復旧事業費	33,090	35,560	△ 2,470	△ 6.9
その他 ③	1,152,578	1,119,680	32,898	2.9
物件費	838,781	785,654	53,127	6.8
維持補修費	22,743	19,104	3,639	19.0
補助費	256,861	275,081	△ 18,220	△ 6.6
積立金	19,193	24,841	△ 5,648	△ 22.7
予備費	15,000	15,000	-	-
小計	5,115,300	5,046,000	69,300	1.4
補正予算第11号総額	279,501	-	-	-
合計	5,394,801	5,046,000	348,801	6.9

※1：一部事務組合、広域連合、県、同級他団体に対する負担金

※2：国民健康保険・後期高齢者医療・下水道・土地開発基金・水道事業会計繰出金

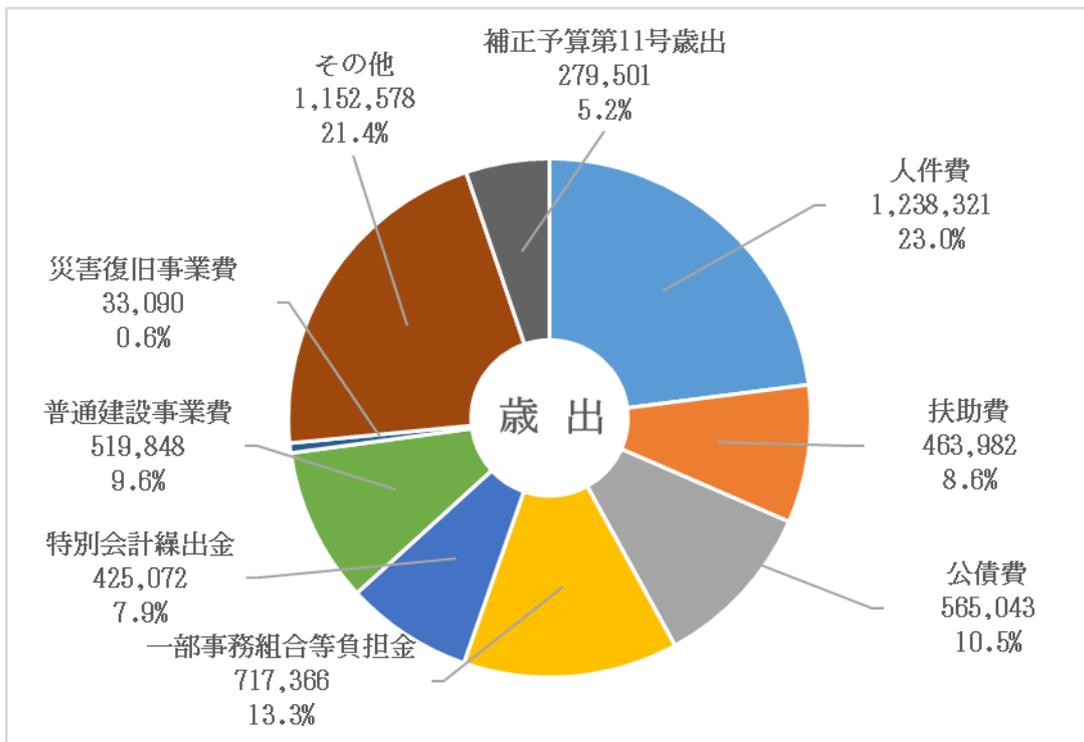
○歳入予算総額 53億9,480万1千円

[科目名、千円]



○歳出予算総額 53億9,480万1千円

[科目名、千円]



※表示単位以下を端数処理しています。

4. 前期基本計画における重点プロジェクト（令和3年度）

1 暮らしに穏やかさを感じる「安全・安心の確保」プロジェクト

（1） 健体康心と生涯現役の促進

① 新型コロナウイルスワクチン接種事業（健康福祉課） 65,194 千円

新型コロナウイルス感染症への対策として、ワクチン接種を関係機関と連携しながら、迅速かつ適切に実施します。

② 健康づくり保健事業（健康福祉課） 6,539 千円

生涯にわたって健康で元気に地域社会で暮らしていくために、自主的、主体的な健康づくり活動を総合的に支援します。生活習慣病の予防、各種病態別予防教室などを実施しながら、日頃の健康づくりへの取組をポイント化する健康マイレージ事業を組み合わせることで、健康づくりに関する取り組みを積極的に進めます。

③ 一部事務組合等負担金（公営事業）（健康福祉課） 138,826 千円

地域の二次医療病院である紀南病院について、構成市町や三重県、三重大学と連携し、医師や医療従事者の確保及び人材育成に努めるなど、地域医療体制の堅持に努めます。

④ 地域福祉推進事業（健康福祉課） 48,077 千円

社会福祉法の改正に伴い、新たに重層的支援体制整備事業に取り組む中で、個別ニーズに合わせた居場所づくり、高齢者や障がい者、貧困、子育て世代等、分野にとらわれない相談・支援体制づくりを、社会福祉協議会と一体的になって地域福祉を推進していきます。また、ボランティア活動の支援なども行うことで、地域住民の社会活動や交流の機会を促進します。

⑤ 地域包括支援センター事業（健康福祉課） 34,336 千円

多様化する福祉ニーズに対応するため、障がいや貧困等複合的な課題を抱える世帯への支援体制の強化を図り、認知症対策や生活支援体制整備事業、在宅医療介護連携推進事業等、地域包括ケア体制の充実化に向けた取り組みを行います。

⑥ 介護予防事業（健康福祉課） 12,867 千円

高齢になっても生きがいを持って、いきいきとした社会生活を送れるよう、介護予防に関する普及啓発を行うとともに、地域住民が自主的に活動を行う介護予防教室の開催支援や、栄養改善、口腔ケアに関する指導や地域リハビリテーションの実施、閉じこもり予防に関する取り組みなどを進めます。

⑦ 障害者自立支援事業（健康福祉課） 265,712 千円

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、介護給付費や医療費の給付、補装具や日常生活用具の給付などを通じて、就労や社会参加のための支援を行います。また、障がい者に関する相談機能を充実化させることで、社会からの孤立化を防止し、障がいがあっても安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

(2) 安全・安心な暮らしの確保

① 地震対策事業（総務課） 71,752 千円（うち、補正予算第 11 号 4,620 千円）

地震による津波が、発生から短時間で沿岸部へ来襲することが想定される地域への津波避難対策として、4基目となる津波避難タワーを建設します。さらに、自主防災組織や各関係機関と連携し、避難行動要支援者の避難支援体制の整備、家具固定や危険ブロック塀の撤去の推進強化に取り組みます。

② 自主防災推進事業（総務課） 2,380 千円

全職員が自主防災組織の支援員となり、町内自主防災組織（全 64 組織）の育成・強化に取り組みむとともに、総合防災訓練や防災研修会の実施、避難所運営マニュアル策定支援等を通じて、地域コミュニティ力と地域防災力の向上を図ります。

③ 道路橋りょう新設改良事業（建設課）

433,044 千円（うち、補正予算第 11 号 115,000 千円）

近畿自動車道紀勢線を核とした道路ネットワークの構築による地域の強靱化や通学路交通安全プログラムに位置付けられた要対策箇所の解消を図るため、社会資本整備総合交付金を活用し、御浜インターチェンジ（仮称）へのアクセス道路である紀南病院線の整備や三軒屋東平見線における歩道整備事業を継続するほか、国道 42 号紀宝熊野道路の側道として整備する向山 9 号線の用地買収を進めます。

予防保全による老朽化対策については、道路メンテナンス事業補助を活用し、橋梁の長寿命化修繕計画のもと老朽化が著しい橋梁の集約化や修繕事業を予定しています。

2 暮らしの活力を生み出す「地域経済の活性化」プロジェクト

(1) みかん産地の再生

① みかん産地再生プロジェクト事業（農林水産課） 4,608 千円

みかん生産量の減少に歯止めをかけ、増加回復させるため、みかん農家の営農意向、既存農地の植栽状況や後継者の有無など基礎調査を実施して、その結果から、5年後～10年後に後継者がいなくなる農地を中心に、地域の話し合いを行い、担い手農家への農地集積を進めるために取り組みます。

② 農山漁村地域整備交付金集落基盤整備事業（建設課） 57,000 千円

農業生産性の向上並びに農用地の保全等を図るための農業生産基盤整備と農村環境の利便性、快適性、安全性に資する農村生活環境整備を行うため、農山漁村地域整備交付金を活用し、黒岩線の農道整備並びに阿田和平見地内の農業排水施設整備を継続するとともに、集落と集落を結ぶ集道については、東里3号線において用地買収など事業の進捗を図り工事に着手するほか、黒岩線や上組6号線については用地測量など事業を継続します。

(2) 地域産業の活性化と地域内経済循環の促進

① 商工総務事務費（企画課） 17,026 千円（うち、補正予算第11号 16,242 千円）

地域の消費動向の事実データを把握するために必要な地域マーケティングセンターの運営を下支えします。また、地域内の消費者をはじめ、本町出身者や旅行者などに、ダイレクトに繋がることのできる地域ポイントカードシステム「K i iカード」を活用した地域内経済循環の促進を支援します。

② 商工業振興事業（企画課） 80,027 千円（うち、補正予算第11号 74,027 千円）

「みえ熊野古道商工会」と連携し、創業や第二創業の促進、商工事業者による効果的なマーケティングの実践及び地域内での消費喚起の取り組みを支援します。

3 暮らしを未来につなぐ「人口減少への挑戦」プロジェクト

(1) 若い世代の定住の促進

① 子育て世代包括支援センター事業・母子保健事業（健康福祉課） 16,975 千円

妊産婦・乳幼児健診や産後ケアを通じて、健全な心身の成長を促します。また、妊婦健診の通院に対する補助や不妊治療費の一部を助成して、妊娠・出産を支援します。

子育て世代包括支援センターを運営し、母子保健の推進と子育て支援を包括的かつ継続的に支援します。

② 子ども子育て家庭支援事業・子育て支援事業（健康福祉課） 47,926 千円

子ども・子育て支援の中心的な役割を担う「子ども家庭室」を中心に、妊娠期から子育て期にわたるまで様々なニーズ（発達、児童相談、ひとり親家庭支援など）に関する総合的相談支援を提供するワンストップ拠点を整え、転入児、未就園児及び2歳児の家庭訪問やセカンドブックの配布などアウトリーチ型の支援を実施するとともに、切れ目のない適切な支援の仕組みをつくり、子ども・子育て支援の充実を図ります。また、放課後児童クラブやファミリーサポートセンターの運営により、子育てしやすい環境整備を図ります。

③ 保育所事業（健康福祉課） 150,268 千円（うち、補正予算第11号 445 千円）

二つの認定こども園について、きめ細かな保育サービスの実施と、阿田和保育園の移転についての協議を進めてまいります。

④ 移住・定住促進事業費（企画課） 48,073 千円

マイホーム取得支援制度を活用し、転入促進と転出抑制を図るとともに、「御浜町移住交流サポートデスク」の機能を拡充し、都市部の移住希望者や地域出身者に対して、きめ細かな移住相談や住まい、暮らしに関する情報提供を行うなど、移住希望者に対する受け入れ環境の充実に取り組みます。

また、「地域おこし協力隊」の効果的な活用に取り組みます。

⑤ 空き家対策総合支援事業（建設課） 7,500 千円

地域住民の生活環境の保全を図り、併せて空家等の利活用を促進するため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき策定した「御浜町空家等対策計画」のもと、定住の促進と安全・安心・快適な住環境の整備に向け、引き続き移住者向け空き家改修費補助を行うほか、生活環境に影響を及ぼすことが懸念される不良空家の除去費補助等を行います。

(2) 町の将来を担う人材の育成

① 国際化教育推進事業（教育委員会） 10,330 千円

新学習指導要領での小学校外国語科や外国語活動、中学校英語科の授業で、生きた英語を子どもたちが学ぶために、引き続き外国語指導助手（ALT）を2名任用します。

② 授業力向上支援事業（教育委員会） 1,400 千円

教師の授業力向上を図り、児童生徒の豊かな学びを実現するため、大学教授等外部講師を招へいし授業研究会の実施や先進校の授業視察及び研修会への参加等を行います。

③ 学力向上のための読書推進事業（教育委員会） 8,437 千円（うち、第11号補正予算 4,300 千円）

読書環境の充実により、子どもたちが本から学ぶ楽しさを身につけるとともに、言語活動の充実を図り学力の向上につなげるため、引き続き学校司書を2名配置するとともに、学校図書館の図書購入費を各校に配分し、蔵書数の充実を図ります。

④ 学校ICT整備事業（教育委員会） 13,419 千円

児童生徒1人1台端末の整備および学校における高速大容量のネットワーク環境の構築により、ICTを基盤とした教育を推進し、子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びを実現します。

5. 前期基本計画（令和3年度）

基本目標1. 誰もが健やかに暮らせるまちづくり

① がん検診事業（健康福祉課） 12,530千円

各種がん検診の土日実施や結核・肺がん検診の巡回検診の実施、検診未受診者への個別受診勧奨の実施などにより受診率の向上を図り、がんによる死亡リスクの減少を目指します。

② 予防接種事業（健康福祉課） 27,805千円

乳幼児、高齢者の定期予防接種を実施し感染症予防に努めます。また、小児インフルエンザ、おたふく、風疹、ロタウイルス、高齢者肺炎球菌ワクチンの任意予防接種について一部助成を実施します。

③ 心の健康づくり事業（健康福祉課） 135千円

こころの健康づくりに関する住民の正しい理解と意識の高揚を図るため、「こころの病気」や「ストレスへの対応」について、研修会や講演会の開催及び広報誌を活用した啓発活動に取り組みます。

④ 特定健康診査等事業（住民課国保会計） 11,809千円

40歳から74歳の国民健康保険被保険者に対し特定健康診査を実施し、健康寿命の延伸に努めます。受診率の向上の取組みとして、自己負担金の窓口無料化、健康年齢の通知をするほか、未受診者に対しては電話勧奨、文書の送付等を効果的に実施します。

基本目標2. 一人ひとりが心豊かに輝けるまちづくり

① 人権推進事業（住民課） 225千円

差別や偏見など、様々な人権課題を解消するため、人権研修会を開催します。また、県や関係機関と連携し、人権啓発に取り組みます。

② 男女共同参画社会推進事業（総務課） 377 千円

御浜町男女共同参画推進基本計画に基づき、男女がお互いに人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮し自分らしく輝いて暮らせる社会の実現のため、男女共同参画に対する意識の高揚を図る目的で、三重県内男女共同参画連携映画祭（東紀州地城市町共催）やあらゆる暴力の予防と根絶に向けたパープルリボン運動、住民や職員を対象とした研修会等を実施します。

③ 医療費助成事業（健康福祉課） 57,154 千円

子ども、障がい者、ひとり親家庭などの経済的負担の軽減を図るため、医療費の助成を行います。また、就学前児童の医療費については県内での窓口負担を無償とし、子育て支援にも配慮した取り組みとしています。

④ 高齢者福祉事業（健康福祉課） 6,107 千円

ひとり暮らし高齢者等の見守り支援として、緊急通報装置の貸与やふれあい配食サービスの支援を行い、介護者負担の軽減のための家族介護用品支援事業を実施します。

⑤ 障害者福祉事業（健康福祉課） 4,103 千円

新たに策定された障がい者計画を基に、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者等、全ての障がい者を対象に対する具体的な支援の検討や、自主的な活動を行う団体等の支援、必要なサービスの認定等、社会参加を促進するための取り組みを行います。

基本目標 3. 安全・安心で快適に生活できるまちづくり

① 非常備消防事業（総務課） 11,126 千円（うち、補正予算第 11 号 440 千円）

消防団の機能維持・強化を行うとともに、活動に使用する装備品等を充実させ、徹底した安全対策の向上に取り組みます。

② 災害対策事業（総務課） 5,092 千円

災害予防から、より迅速な復興を見据えた地域防災計画の抜本的な見直しを行い、様々な災害を想定した実効的な防災、減災対策を推進します。

③ 災害対策施設維持管理事業（総務課） 30,880 千円

防災行政無線等の町通信施設の修繕を含む維持管理を行うとともに、移動系無線のデジタル化対応に伴い、デジタル簡易無線を整備し、情報伝達手段の充実を図ります。

④ 防犯対策事業（総務課） 8,757 千円

犯罪等のない誰もが安心して暮らせる社会を目指し、紀宝警察署など関係機関と連携のもと、防犯啓発活動等を推進し、防犯意識の高揚を図るとともに、区、自治会と協働して防犯灯の適正な維持管理に取り組みます。

⑤ 地籍調査事業（建設課） 30,493 千円

地籍調査事業費補助金を活用して、高速道路計画区域について地籍調査を実施いたします。令和3年度については、阿田和地区や市木地区などで163haの調査を予定しています。

⑥ 公共施設等適正管理推進事業（建設課） 20,000 千円

公共施設等の老朽化対策と適正管理を推進するため、公共施設等適正管理推進事業債を活用して阪本6号線など4路線において側溝を整備し、社会基盤施設の長寿命化を図ります。

⑦ 住宅・建築物耐震改修等事業（建設課） 4,452 千円

地震発生時に倒壊の恐れのある木造住宅の耐震化を促進し、被害の軽減を図ることを目的に無料耐震診断を実施し、補強等に要する設計・工事費に対する補助金を交付します。

⑧ 町営住宅整備事業（建設課） 15,830 千円

建築後30年が経過し内装の劣化が進展している町営住宅平見団地の空き住戸において公営住宅等ストック総合改善事業を活用し、居住性向上改善工事に取り組み町営住宅の計画的な適正管理に努めます。

⑨ 交通対策事業（企画課） 16,210 千円

誰もが利用できる公共交通機関を維持するとともに、タクシー料金に対する助成や広域自主運行バスを運行し、買い物、通院、通学など日常生活の利便性の向上を図ります。

⑩ 合併処理浄化槽設置促進事業（生活環境課） 8,034 千円

生活排水による公共水域の水質汚濁を防止し、水環境を改善するため、引き続き合併処理浄化槽の設置を推進します。

⑪ 東紀州広域ごみ施設運営事業（生活環境課） 12,803 千円

東紀州 5 市町による一部事務組合を設置し、広域ごみ処理施設整備に取り組みます。

⑫ 廃棄物減量化推進事業（生活環境課） 230 千円

町民・事業者・行政関係者から委員を委嘱し、町の施策への提言と事業への反映等を行う廃棄物減量化等推進審議会を開催します。

また、町民のごみ減量化に対する意識啓発・高揚のため、講師を招いてのごみ減量化研修会の開催や、家庭用生ごみ処理容器等の設置助成等を通じてごみの減量化を推進します。

基本目標 4. 活力と魅力を生み出すまちづくり

① 柑橘振興事業（農林水産課） 18,660 千円（うち、補正予算第 11 号 13,419 千円）

御浜町の基幹作物である柑橘の生産振興を図るため、柑橘振興基金・地方創生推進交付金を活用し、マルチ栽培の推進、優良品種への更新、優良中晩柑の防風施設・防寒資材の支援等を実施します。また雇用確保事業、三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会活動などを通じて、担い手の確保に取り組みます。

② 農業振興事業（農林水産課） 49,407 千円（うち、補正予算第 11 号 3,789 千円）

高齢者の生きがい対策として設置した多目的交流施設（農産物直売所）が活性化し、町の集客拠点となるよう、生産者で組織する運営委員会を支援します。また、多面的機能支払いによる集落営農の推進、認定農業者への利子補給や農業次世代人材投資事業など新規就農者及び担い手農家確保の推進、みかん祭りの開催等、総合的な農業振興に取り組みます。

③ 林業振興事業（農林水産課） 14,359 千円

森林の有する多面的機能の持続的発揮、森林資源の循環利用を推進するため、三重くまの森林組合と連携し、みえ森と緑の県民税交付金を活用した森林公園等環境整備事業・木製備品導入支援や、森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度に取り組みます。

④ 有害鳥獣対策事業（農林水産課） 12,607 千円

有害鳥獣（サル、シカ、イノシシ等）の駆除に対する助成金を拡充し、捕獲活動を推進します。また、御浜町鳥獣被害防止総合対策協議会活動を通じて、防護柵の設置、集落ぐるみの鳥獣被害防止活動等、猟友会活動と連携を図りながら総合的に取り組みます。

⑤ 水産振興事業（農林水産課） 2,290 千円（うち、補正予算第 11 号 2,000 千円）

水産業の再生を図るため、広域による栽培漁業への取り組み、また、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少により収益に影響が出ている漁業協同組合を支援します。

⑥ 土地改良施設維持管理適正化事業（建設課） 1,495 千円

ネットフェンスの老朽化に伴う蓑の池における周辺整備につきましては、令和元年度において事業化となり令和 4 年度に補修工事を予定していることや平成 30 年度において下市木地内の久保坂池堤体補修工事を施工したことから事業費負担金を支出します。

⑦ 県営ため池等整備事業（建設課） 9,200 千円

国の農村地域防災減災事業費補助金を活用し、防災重点ため池である『砂方池』を令和 2 年度からの 5 ヶ年をかけて防災減災事業として行うほか、新年度からは『黒岩池』についても同補助金を活用し、事業に着手することから事業費負担金を支出します。

⑧ 団体営ため池等整備事業（建設課） 11,000 千円

農業生産活動の基盤となる農業水路等の機能安定化並びに農地や農業用施設の健全化を図るため、団体営ため池等整備事業補助金を受け団体営ため池等整備事業により、阪本地内の小山池において、ため池の防災環境整備を実施します。

⑨ 商工振興事業（企画課） 15,500 千円

「みえ熊野古道商工会」の活動を継続的に支援するとともに、高齢者の能力を活かした地域社会づくりを推進するため、「シルバー人材センター」の運営を支援します。

⑩ 観光施設維持管理費（企画課） 28,690 千円

「ふれあいビーチ」や「七里御浜ツーリストインフォメーションセンター」などの観光インフラの適切な維持管理を行うとともに、熊野古道の道標整備等に取り組みます。

基本目標 5. とともに学びあい人と文化を育むまちづくり

① 学校教育扶助事業（教育委員会） 13,469 千円

経済的な理由により、就学困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、給食費や学用品費等の援助を行います。

② 中央公民館図書室運営事業（教育委員会） 7,108 千円

中央公民館図書室の活性化と町全体の読書活動推進のため図書司書を配置します。

また、図書室リニューアルやロビーにおける読書スペース充実を目的とした木質化（木の机や書架等の購入）を行います。

③ 中央公民館維持管理費（教育委員会）

22,264 千円（うち、補正予算第 11 号 10,714 千円）

生涯学習の拠点となる中央公民館について、利用者が安全で快適に利用できるよう、女子トイレの洋式化工事や浸水対策として 1 階入り口への止水板設置を実施します。

④ 文化財保護事業（教育委員会） 1,847 千円

文化財を適切に維持・管理するため、文化財調査委員による調査研究に加え、三重大学へ調査研究を委託します。

また、伝統芸能継承団体の活動に対する補助や熊野古道保全整備補助金等を活用した保全活動を実施します。

⑤ 生涯スポーツ振興事業（教育委員会）

3,368 千円

体力や年齢に応じたスポーツ活動が行えるよう、みはまスポーツクラブ等の活動支援を行うとともに、三重とわか国体デモンストレーションスポーツウォークラリーを開催します。

6. 令和3年度特別会計の概要

(1) 国民健康保険特別会計（税務課・住民課） 1,270,100 千円

被保険者の方に健康を維持していただくため、特定健康診査をはじめとし、人間ドックや脳ドック等の保健事業を実施します。

また、万一の場合には安心して医療が受けられるよう、適正な給付を行うとともに、国民健康保険事業の安定的な運営のため、税収や、交付金等の財源の確保に努めます。

(2) 後期高齢者医療特別会計（税務課・住民課） 277,380 千円

後期高齢者医療につきましては、高齢者の皆さんが安心して医療が受けられるよう、広域連合と連携しながら事業推進します。

(3) 下水道特別会計（生活環境課） 181,840 千円

阿田和地区の住環境改善、川と海の水質改善を図り、より快適な生活ができるように下水道施設の適正な維持管理を行うとともに、下水道施設を効率的に改築更新するためストックマネジメント計画に基づいて、マンホールポンプ設備の実施設計及び阿田和クリーンセンター電気機械設備の更新工事を行います。

(4) 水道事業会計（生活環境課） 400,290 千円

安全でおいしい水を安定して供給するために、上水道施設の適正な維持管理を行います。また、老朽化した施設の更新に備え、費用の平準化を図りつつ水道施設を効率的に更新するための計画を策定します。